



たじみ監督署 安全衛生だより

平成23年の労働災害発生状況

～ 死亡災害が1件発生しました ～

平成23年9月末における全産業における休業4日以上の労働災害発生状況は169件で、前年に比べ25件の減少となっています。ただし、台風による土砂崩れによる死亡災害が1件発生しました。

主な業種別にみると、製造業62件、建設業12件、運送業21件、卸小売業15件発生し、特に、運送業については、前年同時期に比べ90.9%の大幅な増加を示しています。

なお、本年度優先的に災害防止を推進している建設業においては、大幅な減少を示していますが、台風15号における復旧工事等の発注見込みもあり労働災害の増加が懸念されています。

このような状況の中、「安全最優先」の考え方を基本に、経営トップの強いリーダーシップのもと、日常的な小集団活動の活性化やリスクアセスメントの強化により、職場で発生する諸課題を主体的に発見し、解決する力である「現場力」の強化を図りましょう。

	平成23年	平成22年	対前年 増減数	対前年 増減率	構成比	(参考) 平成21年
全産業	169 (1)	194 (4)	-25	-12.9%	100%	162 (2)
製造業	62 (1)	69 (2)	-7	-10.1%	36.7%	63 (1)
うちパルプ・紙等	1	6 (1)	-5	-83.3%	0.6%	6
うち窯業土石	21 (1)	26	-5	-19.2%	12.4%	28 (1)
うち機械金属	20	15 (1)	5	33.3%	11.8%	14
建設業	12	27 (2)	-15	-55.6%	7.1%	18
運輸業	21	11	10	90.9%	12.4%	16
卸・小売業	15	19	-4	-21.1%	8.9%	22
通信業	8	9	-1	-11.1%	4.7%	3
ゴルフ場	13	22	-9	-40.9%	7.7%	16 (1)
上記以外	38	37	1	2.7%	22.5%	24

本統計は、平成23年9末日までに労働者死傷病報告により報告のあった休業4日以上の死傷災害を集計したもので、カッコ内の数は死亡災害を内数で示したものです。

構成比は小数第2位を四捨五入しているため、各業種の合計が100%にならない場合があります。

岐阜労働局発表の災害統計では、9月に発生した死亡災害のカウントがされていない状態で発表されています。